

はつらつ通信

患者さまとそのご家族に安心と信頼をお届けするマガジン

つながるホスピタル・アート

第17回も好評のうちに閉幕

札幌ライラック病院では、2008年から「びょういんあーとぷろじえくと」をシリーズ開催し、院内に毎回異なるアート作品を展示しています。

3月末日まで開催した第17回「Vol.5 ゆきとけ うたうたう庭」には、春らしい柔らかな色彩の絵画が並び、作家自筆の解説が添えられたためくもりある作品が、患者さまや職員の目を楽しませました。



八子直子さんの作品



小林麻美さんの作品



15年の節目を迎えて

病院にアートを取り入れるホスピタル・アートに当院が取り組んで15年。今年は節目にふさわしい年となりました。アートがつかないだご縁と、そこから当院が見つけた次の一步のヒントをお伝えします。



安藤文絵さんの作品



ホスピタル・アートがつないだご縁

病院を「キャンパス」に



取材を受けて 情報発信

当院がホスピタル・アートを採り入れたきっかけは、長く臨床美術に取り組み、作品展示の場を求めていたアーティストの日野間尋子さんとの出会い。その後、この企画展は「びょういんあーとぶろじえくと」と名付けられ、日野間さんから作家の尽力でシリーズ開催となりました。

その後、「びょういんあーとぶろじえくと」は少しずつ注目されるように



北海道医療新聞の取材を受ける日野間さんと鍋谷センター長

なり、テレビ局や新聞社の取材依頼も舞い込むようになり、今回は北海道医療新聞が記事にしてくださいました。



2月27日の掲載紙面

縁あって四国へ 視察に

「ゆきとけうたうたう庭」展では、会期中に札幌文化芸術交流センターでも3日間の展示を実施。最終日には「病院にアートがあること」と題したシンポジウムが企画され、当院の志田勇人理事長が登壇することとなりました。

その打ち合わせの際、もう一人の登壇者である森合音さんがアートディレクターを務める四国こどもとおとなの医療センターの話をおとなの医療センターの話を聞き、急遽視察を決定。志田理事長自ら連絡を取り、3月6日(月)に鍋谷健彦総合支援センター長と森永万佐夫事務長との全3名のミニ視察団で同医療センターを訪問しました。



霊安室への通路には、職員がイニシャル入りで描いた花々

シンポに 理事長が登壇

3月26日(日)のシンポジウムで志田理事長は、大学浪人時代に菜の花畑を見て感動した経験から、身体的・精神的に弱っているときのアートの必要性に言及。それを森さんが「美術館と違い、痛みを抱えた方が来られる病院という場が必要なのアートの在り方をずっと考え続けています」と受け、「自身の歩みや取り組みを紹介しました。

病院の働く環境や業務効率をも変えた実例で、ホスピタル・アートの包摂力



シンポジウムで当院の取り組みを紹介する志田理事長

を語られた森さん。当院に来院され展示にご助言をいただくと、新しいご縁は当院の取り組みをより良いものに高めてくれることでしょう。



国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター(香川県)



その場所に存在する意味まで熟考されている作品群



屋上庭園は職員とボランティアが整備



視察後、本場の讃岐うどんに舌鼓

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄についても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

目標を定めて2023年度スタート!

新年度の達成目標

看護部外来

- ①患者様・スタッフにとって効率的かつ効果的な業務整理
- ②感染しない・させない

昨年度は発熱外来やワクチンなどの業務が増え、常に感染の危険のあった中、スタッフの頑張りのおかげで乗り切れました。病棟から異動し今年外来2年目の私自身はまだ学ぶことが多いです。その新しい目で見えてきた改善点を、今年は整理していきます。(村上文美恵外来師長)



リハビリテーション科

入院・外来・訪問・通所、全ての分野で呼吸器や透析の患者様への専門性をいかし、質の高いリハビリを提供する

コロナによる制約が緩まる今年度は、勉強会の頻度をアップ。ケーススタディ中心の意見交換で学びを業務に反映しやすくし、呼吸療法認定士8名、腎臓リハビリテーション指導士1名という専門性の高さを科全体のスキル・技術の向上につなげ、患者さまに還元します。(川美千代科長)



利用者数を回復し、活気のある雰囲気をつくっていく

コロナに始まり、コロナで終わった昨年度。行動制限で利用者さまにご不便をおかけしてしまいました。コロナが5類になり、今年度は通所希望を基本お断りせず受け入れる予定です。感染対策を講じながらも、以前のような活気あるデイケアに少しずつ戻していきます。(遠藤宏樹課長)

通所リハ(デイケア)

送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金
4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822 URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 [平 日] 9:00~12:30 13:30~17:00
[土 曜] 9:00~12:00

面会時間 [平 日] 14:00~20:00
[土 日 祝] 12:00~20:00



『はつらつ通信』に対するご意見・ご希望は、電話または当院ウェブサイトのフォームにてお寄せください。